

早稲田大学 大学院法学研究科  
2021年度 修士課程(社会人)入学試験問題  
【小論文】

社会人研究課題

「社会保障、社会福祉・成年後見の法と行政」

以下の6つの設問のうち、1つを選んで解答しなさい。

- (1) 社会保障行政分野の法律関係に関して「措置から契約へ」という用語で理解される変化がある。この点に関わる事例を1つ挙げ、そこにおける法律問題を論じなさい。
- (2) 新型コロナウイルス感染の拡大が社会保障法制に及ぼし得る影響と、今後同法制に求められる改革の方向性につき論じなさい。
- (3) 成年後見人の報酬額の決定方法について、近時どのような議論がなされているかを紹介したうえで、自らの見解を述べなさい。
- (4) 行政立法に関わる社会保障法判例を1つ挙げ、それをもとに行政立法の司法審査のあり方を論じなさい。
- (5) 高齢期をめぐる雇用法制と所得保障法制の動向と、今後のあるべき方向性について論じなさい。
- (6) 成年後見人が職務遂行上、負う注意義務にはどのようなものがあるか、論じなさい。

答案の書き方 (横書 / 縦書)

六法全書の使用を (認める / 認めない)